

アンサンブル・デル・クオーレ
女たちの合唱オペラ

東京公演

いろえんぴつ

作・演出 加藤直 作曲 萩京子

2023.5.2(火) 開場 18:30 開演 19:00

あうるすぽっと 豊島区立舞台芸術交流センター

後援 長野県川上村/川上村教育委員会



アンサンブル・デル・クオーレ **東京公演**
女たちの合唱オペラ

いろえんぴつ

2023.5.2(火) 開場 18:30 開演 19:00

あうるすぽっと 豊島区立舞台芸術交流センター

チケット 2,000円 全席自由 お問い合わせ 由井 090-4756-8634 山中 090-1044-6251



演出 加藤直

「いつの間にか家に住みついた野良の黒猫はね 夜になると色々な色に変身して面白い。人生変わったよ」「可愛がり過ぎて心を奪われキミの目まで奪われちゃったっていうこと？」

音楽や歌は夜に似ている と思います。どちらもその存在や有様が 目に見えない。そして心に響く歌は聞く人に時に別の世界を想像させます。その上 夜がそうするように「こっちへお出で」と見えない世界へ誘惑します。色えんぴつが嫌いな人は そうしない筈。しかし夜や闇が苦手な人は結構います。黒色恐怖症さえるらしい。

見えないものや理解出来ない事柄を遠ざける近代の人の生き方を 色えんぴつが解放してくれるかもしれないのに。「世界は様々な異なる声で出来ている！」

厳然とボクらの現実・日常に存在する夜や闇。その「黒色」は色々雑多な色が混ざり合い衝突し合い出来ている。ならば と忘れかけた色えんぴつを片手に音楽や歌を楽しんでみては！ 黒猫が喜び勇んでダンスを踊る かも。



作曲 萩京子

川上村との出会い、それは2016年の夏です。知念捷さんの詩による「みるく世がやゆら」を作曲し、毎年川上村で行なわれている合唱セミナーで初演しました。美味しいレタスを食べ、川上犬にも会いました。またいつか川上村に行きたいと思っていたら、川上村で活動している女声合唱団アンサンブル・デル・クオーレのために、加藤直さんの台本・演出で合唱オペラを作曲するというステキな話が舞い込んで来ました。

加藤直さんとは実に長いおつきあいになります。一緒にたくさんのおperaを創って来ました。加藤さんの書くことばは、ちょっと毒が入っていてやっかいです。でも加藤さんのことばに作曲することは、スリリングで楽しい。

「いろえんぴつ」が旅に出る物語・・・。「いろえんぴつ」は誰にとっても身近なものであり、でも少し忘れられた存在でもあり、懐かしさと想像力をかきたてます。「ここではないどこかへ行きたい」という、これも少し忘れかけていた願望をおおいに刺激します。

2020年に初演する予定だったのが、コロナの影響で、2022年12月に川上村でやっと初演できました。そして今度は東京公演です。川上村から飛び出した「いろえんぴつ」たちが、どんな音色をたてるか、楽しみです。



ピアノ 五味貴秋

照明 成瀬一裕

舞臺演出 八木清市

音響 関口嘉顕

出演 アンサンブル・デル・クオーレ



合唱指揮 日向泰江



由井幸



山中弥生



渡辺静江



高見沢保美



由井寿子



今井朋子



由井博子



井出智代



林京子



青木有以



小原由利子



由井郁子



小原菜穂子

1997年長野県川上村で発足した女声アンサンブル。委嘱初演作品は女声合唱のための「恋ものがたり」信長貴富編曲(2006年) / 「川上小唄」信長貴富編曲(2008年) / 合唱オペラ「ツバキとツブテと川の上」加藤直作詩 信長貴富作曲(2013年) / 合唱オペラ「えほん」加藤直作詩 信長貴富作曲(2017年) / 合唱オペラ「いろえんぴつ」加藤直作詩 萩京子作曲(2022年)など。

チケット取扱 としまチケットセンター

WEB <https://www.owlspot.jp/> (24時間受付)

電話 0570-056-777 窓口 としま区民センター1階

(電話10:00-17:00 窓口10:00-19:00/臨時休業あり)

あうるすぽっと

〒170-0013 東京都豊島区東池袋4-5-2 ライズアリーナビル2F

会場に関するお問い合わせ 03-5391-0751 URL <https://www.owlspot.jp>

・東京メトロ有楽町線「東池袋駅」6・7番出口より直結 ・JR他「池袋駅」東口よりグリーン大通り直進徒歩10分

・都電荒川線「東池袋四丁目」より徒歩2分



※感染症拡大防止にご協力をお願いいたします ※出演者へのお心遣い等はご遠慮させていただきます